

3回戦		石巻市民球場		1 時間 48 分				打安点盗犠四三残失併	
村田	1 0 0	0 0 0	0	0	0	0	0	【村】	24 5 1 1 1 2 7 5 3 1
仙台第一	0 0 0	2 0 6	×					【仙】	26 8 6 4 2 4 1 6 0 1
				(7回コールド)				▽本塁打	
								なし	
								▽三塁打	
								なし	
								▽二塁打	
								三浦, 丹野 (村) 唯野 (仙)	
								▽暴投 なし	
								▽捕逸 なし	

【評】

第五シードの仙台第一高校が7回コールド8対1で村田高校を退けた。村田は初回、先頭の佐藤琉雅が出塁すると5番丹野の適時二塁打で幸先よく先制する。追いつきたい第五シードの仙台第一だったが、村田の先発新田は力強いストレートで3回まで1安打に抑える好投を見せる。しかし仙台第一は4回、3番三好、4番東の連打の後、6番唯野の2点適時二塁打で逆転する。6回には武藤、唯野、奥山の連打に犠飛と盗塁を絡め、更に3つの失策もあり、一挙6点を奪い試合を決めた。仙台第一の奥山は立ち上がりこそ制球が乱れたが、逆転後は落ち着いた投球をみせ、6回まで散発5安打に抑え、7回には大槻、大友と継投し逃げ切った。村田高校は力強いスイングとバッテリーを中心に、競った展開に持ち込みたかったが、要所での失策に流れを持ってくることができず、3年生8人の夏が終わった。新チームは選手8人で再スタートをきるこ

3回戦		石巻市民球場		3 時間 5 分				打安点盗犠四三残失併	
仙台南	0 0 0	0 0 2	0	0	0	0	4	【仙】	43 12 6 1 1 2 6 12 1 0
石巻工業	0 0 1	0 0 1	0	0	0	0	2	【石】	37 10 3 1 3 5 8 13 3 0
				(延長10回タイブレーク)				▽本塁打	
								なし	
								▽三塁打	
								中澤 (南), 梶原 (石)	
								▽二塁打	
								井上, 三田村 (仙) なし (石)	
								▽暴投 高木 (南) 2	
								▽捕逸 なし	

【評】

仙台南高木 (172球)、石巻工佐藤 (148球)、両投手の投げ合いは、見事なものであった。石巻工は、3回1番伏見、2番梶原の安打と敵失暴投で1点先制。3回5回の満塁の好機を生かせずにいた仙台南は、6回走者一二塁の場面で、1番中澤が中越三塁打を打ち逆転した。石巻工はその裏にすかさず反撃、先頭5番青山の中前安打、8番高橋の右前安打で同点にした。その後は両校決め手を欠き、延長タイブレークに突入。仙台南10回表、4番三田村の左越二塁打、5番高瀬の右前安打、7番瀧場の左前安打、9番居村の右前安打で一挙4点を奪い試合を決めた。石巻工は4番和田5番青山の連続左前安打で2点返したが、後続が絶たれた。

3回戦		仙台市民球場		2 時間 38 分				打安点盗犠四三残失併	
仙台南	0 5 1	0 1 0	0	0	0	4	0	【仙】	40 13 6 4 2 8 2 12 0 1
仙台南	0 1 0	0 1 0	0	0	0	0	0	【城】	30 6 2 0 2 7 4 10 4 1
				()				▽本塁打	
								なし	
								▽三塁打	
								倉田 (仙台)	
								▽二塁打	
								鎌田2, 加藤, 大橋 (仙) 高橋, 山崎 (城)	
								▽暴投 鎌田1 (仙台), 池田1, 林郷2 (城南)	
								▽捕逸 藤原1 (仙台)	

【評】

第3シード仙台南高校と仙台高校の試合。仙台高校は序盤から効果的に加点し試合を優位に進めた。2回表に5番大久保の安打から5本の長短打を集中させ5点を先制する。仙台南は2回裏に7番伊藤の適時打で1点返すが後続が続かなかった。5回に二本の長打で1点を返したが、後半は、仙台高校の主戦である鎌田に打線が振るわなかった。仙台高校は9回表に長短打3本と四死球3つをつなげ、4点を加点した。主戦の鎌田は第3シードの仙台南打線を相手に135球6安打2失点と見事なピッチングを披露した。

3回戦		仙台市民球場		2 時間 1 分				打安点盗犠四三残失併	
古川工業	1 0 1	2 2 3	2					【古】	34 14 11 1 1 4 3 7 0 0
登米総合産業	1 0 0	0 1 0	0					【登】	21 2 1 1 1 3 5 2 3 0
				(7回コールド)				▽本塁打	
								なし	
								▽三塁打	
								高橋凌, 小野 (古)	
								▽二塁打	
								小関2, 岩崎, 齋田, 水戸, 板垣 (古) 志田 (登)	
								▽暴投 小関1 (古)	
								▽捕逸 なし	

【評】

古川工業は1回表1番高橋凌がライト越え3塁打で出塁し2番小野のセカンドゴロの間に先制した。対する登米総産は1回裏1番松浦の右前打と犠打とセカンドゴロで2死3塁とし古工小関の暴投ですかさず同点とした。古工は3回3番岩崎のレフト越え2塁打で1点、4回7番小関のレフト越え2塁打と右前打2本で2点、5回には右前打とセカンドエラーに5番齋田のレフト越え2塁打で2点を加え追いつく登米を突き放した。6回にも2塁打2本と内野安打と故意四球で3点、7回にはヒット2本と2番小野のレフト越え3塁打で2点を加え、7回合計11点を奪い登米を圧倒した。結果的に古工先発の小関は6回を被安打2本、失点2に抑えた。

3回戦		鹿島台中央野球場		2 時間 31 分				打安点盗犠四三残失併											
登	米	1	0	0	0	0	2	2	【登】	38	6	2	4	1	2	9	8	1	2
仙	向山	0	0	0	0	1	0	0	【仙】	27	4	2	0	3	7	3	8	5	0
(球) 加藤修一 (一) 佐藤正江 (二) 森山宏則 (三) 長谷川鴻ノ介										▽本塁打 なし									
【登】 佐藤(健), 内海, 三田 ー 今野										▽三塁打 内海(登米)									
【仙】 木村(郁) ー 加藤										▽二塁打 三田2 (登) 金野 (仙)									
▽暴投 なし										▽捕逸 なし									

【評】

登米は初回、相手内野の乱れをつき1点を先制。4回も敵失を活かし、追加点を挙げた。向山は、5回スクイズ失敗の後、金野の二塁打で1点を返し、7回には1死2・3塁から犠飛で同点とした。登米は8回表、二塁打で出塁した三田が敵失で還り、さらに菅原の中前適時打でこの回2点を挙げた。9回表は、三塁打で出塁した内海を犠打野選で還し、敵失を絡め6対2と突きはなした。向山は、9回裏に3連続四球を得て無死満塁としたが、この回途中から救援した三田に後続を断たれ、ゲームセットとなった。

3回戦		鹿島台中央野球場		1 時間 53 分				打安点盗犠四三残失併											
泉	松陵	1	0	0	0	0	0	0	【泉】	21	4	0	0	2	1	7	5	2	0
利	府	0	1	1	8	0	1x		【利】	26	11	11	4	2	8	0	10	3	1
(6回コールド(15:05~15:20中断))										▽本塁打 なし									
(球) 雁部博昭 (一) 石川英孝 (二) 佐々木駿太 (三) 熊谷勇也										▽三塁打 櫻井2(利府)									
【泉】 池田, 相澤, 高橋(大) ー 橋										▽二塁打 なし (泉)									
【利】 長岡, 仁田 ー 日野, 高橋(元)										▽暴投 なし (利)									
▽暴投 なし										▽捕逸 なし									

【評】

立ち上がりは、泉松陵が安打の走者を確実に進めて先制し、一方の利府打線は相手先発のアンダースロー池田投手を打ちあぐね、泉松陵のペースで試合が始まった。しかし、利府打線は、徐々に制球が乱れたことで得た四死球を足掛かりに得点圏にランナーを進め、2回3回に1点ずつ得点し逆転した。さらに4回には4四球と8番櫻井の2本の長打など6安打を集め、打者一巡の猛攻で一挙8点を挙げ、泉松陵投手陣攻略に成功した。利府投手陣は3人のリレーで、泉松陵を4安打1失点に抑え、快勝に結び付けた。

3回戦		仙台市民球場		2 時間 6 分				打安点盗犠四三残失併											
築	館	0	1	1	0	1	0	0	【築】	30	10	2	1	2	2	3	7	4	1
仙	台東	2	0	4	1	2	0	1x	【仙】	32	14	7	6	5	6	5	10	2	1
(8回コールド)										▽本塁打 なし									
(球) 太田博昭 (一) 熊谷勇也 (二) 吉田喜典 (三) 三浦昌浩										▽三塁打 渡邊(築), 中善寺(東)									
【築】 高橋英, 高橋裕, 及川, 高橋裕, 川田 ー 川田, 渡邊										▽二塁打 工藤 (築) 佐藤宏 (仙)									
【仙】 佐藤辰 ー 佐々木										▽暴投 佐藤辰1(東)									
▽暴投 佐藤辰1(東)										▽捕逸 渡邊1(築)									

【評】

仙台台東は、14安打の猛攻で築館を圧倒した。初回2点先制された築館は、2回5番渡邊の右三塁打と6番及川のスクイズで1点。3回9番工藤の中二塁打と2番千葉大の安打で同点にした。しかし、仙台台東はその裏先頭2番熊谷四球、3番佐藤海右安打、4番安田投バント安打で無死満塁と築館二番手高橋裕を攻め立て、敵失と6番佐々木の犠飛、7番中善寺の左前安打で4点加え、築館を突き放した。その後も着実に得点を重ね、8回7番中善寺の右安打でコールドゲームとした。築館は、10安打と仙台台東主戦佐藤辰を苦しめたが、決定打を欠いた。

3回戦		仙台市民球場		1 時間 23 分				打安点盗犠四三残失併											
高	専名取	1	0	0	0	0	0	0	【高】	17	3	0	2	1	0	6	2	4	0
柴	田	5	4	3	1	x			【柴】	22	12	10	3	4	2	0	3	0	0
(5回コールド)										▽本塁打 なし									
(球) 黒沼 修 (一) 大槻充夫 (二) 山下大輔 (三) 岩倉淑浩										▽三塁打 村上(柴)									
【高】 川野, 増田 ー 佐藤寿										▽二塁打 なし (高)									
【柴】 古山, 高橋, 佐々木 ー 阿部翔										▽暴投 川野2(高), 古山1(柴)									
▽暴投 川野2(高), 古山1(柴)										▽捕逸 なし									

【評】

1回表高専名取は1番川野と2番江川の連続中前打、3番小野のショートゴロで1死1・3塁とし、5番藤木の4球目に重盗を決め先制した。柴田は1回裏1番岩間の右前打を2番佐藤大が送り3番阿部蒼の右前打で同点とし、渡部の左前打と四球と暴投、ショートエラーで一挙5点をあげて逆転した。柴田は続く2回にもセカンドエラーと佐藤大の左翼線2塁打、渡部の左前打、村上の右翼線3塁打、佐藤大の中前打で4点を奪い試合の主導権を握った。3回にも四球と岩間の右前打、犠打とファーストエラー、渡部のレフト越え2塁打で3点を加えた。高専名取は柴田の先発古山、2番手高橋祐、抑えの佐々木勇の3投手を打ちあぐね3回3安打1点に抑えられた。

3回戦		石巻市民球場		2 時間 54 分															
東	北	学	院	古	川	学	園	打	安	点	盗	犠	四	三	残	失	併		
3	0	0	0	0	0	0	0	36	9	5	1	2	10	6	14	1	0		
0	0	1	0	0	1	0	0	28	5	2	0	3	3	6	5	5	1		
(球) 沼辺力也 (一) 金 昌明 (二) 西城皇祐 (三) 新田健治 (東) 井上, 伊東 (古) 早川, 志賀, 鈴木統, 志賀 一 入駒, 小川 ▽暴投 なし ▽捕逸 なし																			
(東) 井上, 伊東 (古) 早川, 志賀, 鈴木統, 志賀 一 入駒, 小川 ▽本塁打 なし ▽三塁打 井上 (東) ▽二塁打 なし (東) (古)																			

【評】
 東北学院は、初回に3四球で出塁し、5番上田の犠飛で先制し、6番井上の右翼への3塁打で加点し3点をあげた。先発の井上は5回まで古川学園の打線を3安打1点に抑え、6回から継投した伊東も1点を失うも要所を抑えた。打線は9回に3連打と内野の失策に乗じ4点を追加し試合を決めた。古川学園は、井上・伊東の両投手に散発5安打に抑えられ、好機を作ることができなかった。

3回戦		石巻市民球場		1 時間 18 分																			
黒	川	東	北	打	安	点	盗	犠	四	三	残	失	併										
0	0	1	0	20	5	1	1	0	0	1	4	0	0	22	12	11	4	2	10	0	10	1	0
0	5	1	2	22	12	11	4	2	10	0	10	1	0	22	12	11	4	2	10	0	10	1	0
(球) 佐藤 圭 (一) 加藤正弘 (二) 小倉貴仁 (三) 福田好伸 (黒) 松村, 須藤 (東) 小野寺 (古) 福島 一 佐藤 ▽暴投 須藤1(黒) ▽捕逸 なし																							
(黒) 松村, 須藤 (東) 小野寺 (古) 福島 一 佐藤 ▽本塁打 なし ▽三塁打 外島(東) ▽二塁打 折笠 (黒) 津田, 齋藤 (東)																							

【評】
 1対1の5回コールドで東北高校打線が黒川高校を圧倒した。0-0で迎えた東北高校2回裏の攻撃で2死球と八番津田の3点2塁打など6安打を固め打ちし、5点をあげた。黒川高校は3回表、5点を追い、我妻の内野安打、折笠の右翼への2塁打で無死一二塁と好機を広げたが、後続が1点をあげるにとどまった。東北高校は黒川高校の投手2名から10四死球に12安打を絡めて、大量11点をあげ勝利した。

3回戦		鹿島台中央野球場		2 時間 42 分																			
佐	大	崎	中	打	安	点	盗	犠	四	三	残	失	併										
2	2	0	0	35	7	4	1	1	4	11	9	1	2	29	5	1	3	1	8	8	10	3	0
1	0	0	0	29	5	1	3	1	8	8	10	3	0	29	5	1	3	1	8	8	10	3	0
(球) 小松宗夫 (一) 佐藤拓哉 (二) 渡辺明夫 (三) 米谷正信 (佐) 菅原 (大) 村山, 齋藤, 氏家 一 佐藤駿 ▽暴投 なし ▽捕逸 なし																							
(佐) 菅原 (大) 村山, 齋藤, 氏家 一 佐藤駿 ▽本塁打 なし ▽三塁打 なし ▽二塁打 佐々木智, 佐々木歩 (佐) (大)																							

【評】
 立ち上がりのチャンスを確実に活かし、得点を挙げた佐沼が、主戦菅原の力投で大崎の反撃を抑えてリードを保ち、勝利をものにした。佐沼は初回、敵方で出塁した佐々木歩を佐々木智の二塁打で返し、さらに桜田の左前打で2点を先制した。二回も二死二塁から及川の内野安打の間に左越二塁打で追加点を挙げた佐々木歩が生還して2点を追加した。三回以降は、大崎の救援投手齊藤・氏家、佐沼の菅原が要所を締め、得点を許さず引き締まった試合となった。大崎は初回、四球で出塁した菅原が佐藤大の左前打で生還し、すぐ1点を返したが、中盤までに何度か得点のチャンスを作るもあと一本が出ず、後半以降は、粘り強い投球の菅原に抑えられ、試合の主導権を握り返すことはできなかった。

3回戦		鹿島台中央野球場		2 時間 47 分																			
角	石	打	安	点	盗	犠	四	三	残	失	併												
1	0	0	0	32	10	1	0	3	4	1	11	1	1	30	9	5	1	2	6	4	9	1	3
0	0	4	0	30	9	5	1	2	6	4	9	1	3	30	9	5	1	2	6	4	9	1	3
(球) 鈴木 渉 (一) 高橋弥寿仁 (二) 武田 徹 (三) 遠藤 玲 (角) 森, 佐藤 (石) 本木 一 安藤 (石) 本木 一 阿部 ▽暴投 なし ▽捕逸 なし																							
(角) 森, 佐藤 (石) 本木 一 安藤 ▽本塁打 なし ▽三塁打 齊藤, 阿部, 清水 (石) ▽二塁打 安藤, 轟田 (角) (石)																							

【評】
 先攻の角田が石巻先発の本木を攻め、安打の走者をバントで送り、4番安藤のタイムリーで先制した。一方石巻は3回に先頭齋藤の三塁打を皮切りに4安打と1四球を絡めて打線がつながり、4点を挙げ逆転した。さらに6回にも長打と四球などで追加点を挙げ、リードを広げた。角田のリリーフ佐藤は低めにコントロールされた投球で、6回以降石巻打線を抑えたが、角田は再三にわたって、無死でのランナーを出塁させたものの、石巻先発本木の丁寧な投球により後続を断たれ、合計10安打を放ったものの、追加点を挙げることができなかった。